

名古屋港における 脱炭素に向けた取組

2025年8月20日
名古屋港管理組合



名古屋港の港勢(2024年)

- 日本の中心部に位置し、交通の利便性が高い。
- 46年間連続で、日本国内における完成車輸出台数で第1位。



総取扱貨物量

1億5,700万トン

日本一

外貿
取扱貨物量

1億1,100万トン

日本一

輸出入差引額

8兆6,000億円

日本一

完成自動車
輸出台数

146万台

日本一

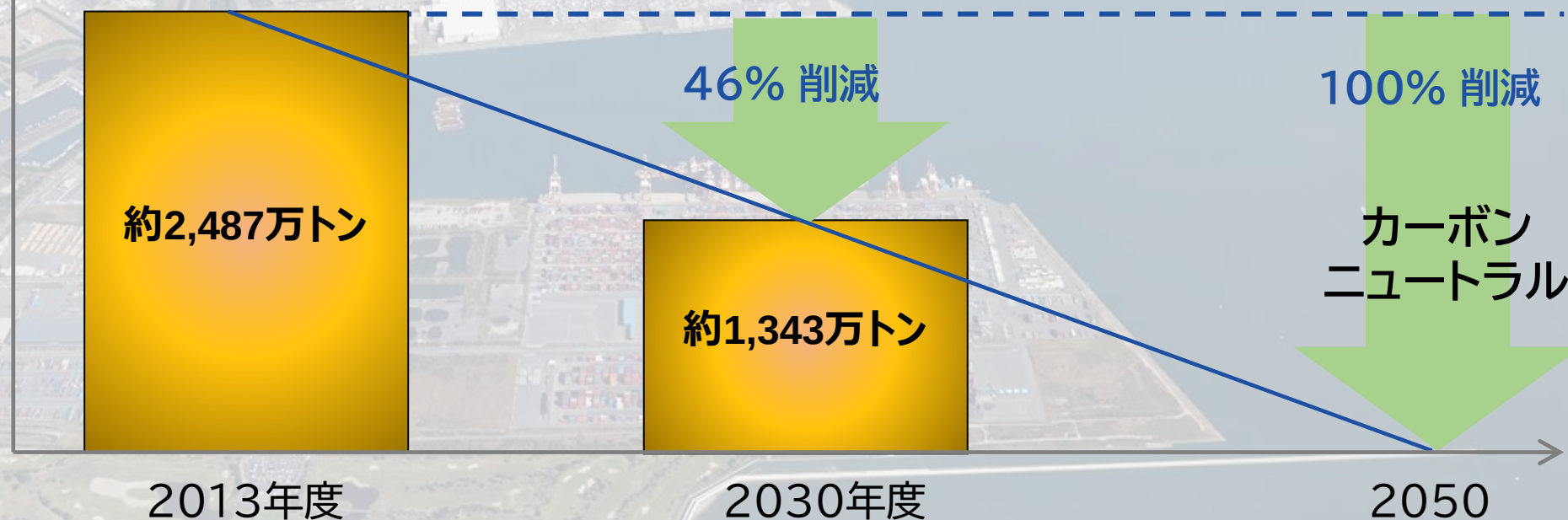
名古屋港港湾脱炭素化推進計画

- 名古屋港港湾脱炭素化推進計画(2024年3月策定、2025年3月一部変更)

重要達成度指標 (KPI) ⇒ CO2排出削減目標

以下は具体的な数値目標

CO₂ 排出量
(トン)



カーボンニュートラルポート形成に向けた取組

名古屋港の目指す方向性

「ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラル実現の両立」に貢献していく

荷役機械及び物流車両を
対象とした水素利活用の実証

荷役機械の電動化

鍋田ふ頭

港内

FC換装型RTGの導入

アンモニア燃料船の導入

飛島ふ頭

金城ふ頭

陸上電力供給設備の導入

知多緑浜工場での水素製造

南5区

実施箇所未定

CCUS事業のための施設整備

海外輸入水素・アンモニアの受入基地整備

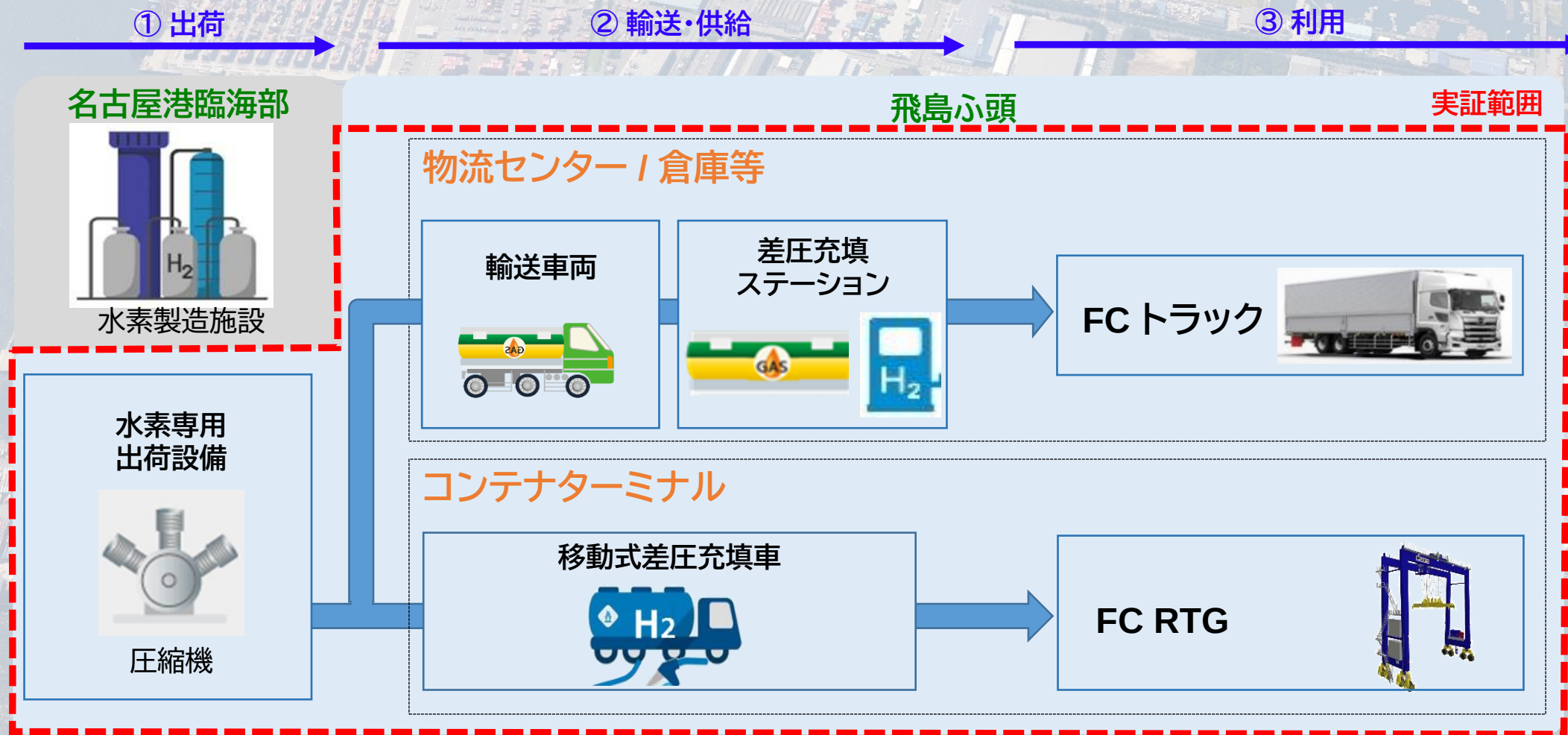
：港湾脱炭素化促進事業

：脱炭素化の促進に資する将来の構想

水素利活用の実証事業

目的

日本の水素利活用における「港湾モデル」の確立



PORT OF NAGOYA

名古屋港は、ものづくり産業の成長や
地域の脱炭素化に貢献していきます。